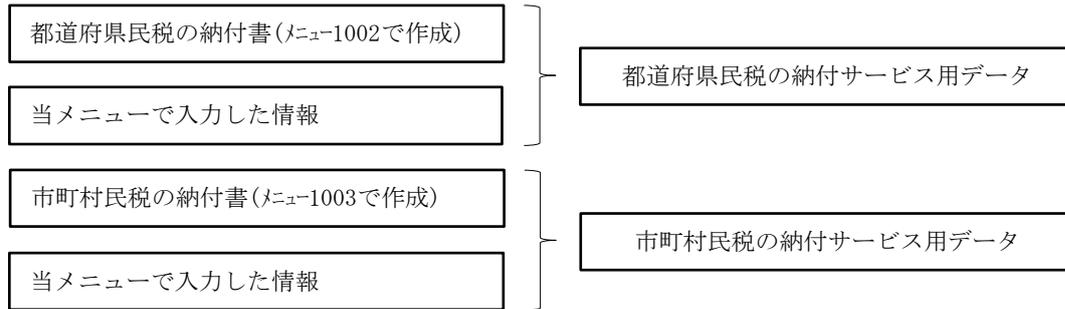


V [1004. 地方税納付サービス用データの作成]メニュー

[1004. 地方税納付サービス用データの作成]メニューでは、銀行回線による地方税納付依頼のデータ(テキストファイル)を作成できます。システムで作成できる地方税納付サービス用データの対応銀行(サービス)は次の2つです。

- 三菱UFJ銀行「U-Line Xtra」
- 三井住友銀行「パソコンバンクサービス」

管理番号、課税事務所(フリガナ)、納付税額など必要となるデータはメニュー1002又は1003で作成済みの納付書から連動しますので、当メニューでは、取扱店番等の追加情報のみ入力します。



(注) 1. [1002. 都道府県民税の納付書の作成]メニューで指定した「申告区分」が法人道府県民税と法人事業税で異なる場合は都道府県民税の納付サービス用データが作成できません。

2. メニュー1002・1003で納付書を未作成の場合は、納付サービス用データが作成できません。

1. データの入力

地方税納付サービス用データのフォーマットは銀行ごとに異なるため、「取扱銀行」を指定してからデータを入力します。入力後は、[データ作成]ボタンをクリックします。

(1) [納期限]欄

申告区分(メニュー1002・1003)や申告期限の延長の有無(メニュー501)に応じて、納期限が初期表示されます。

申告区分	申告期限の延長	初期表示される日付
確定	有	メニュー1002の納期限の[申告期限延長時]欄の日付
	無	メニュー1002・1003の[納期限]欄の日付
その他 (見込)	有	メニュー1002の納期限の[原則時]欄の日付
	無	メニュー1002・1003の[納期限]欄の日付

申告区分	申告期限の延長	初期表示される日付
中間	—	メニュー1002・1003の[納期限]欄の日付
修正	—	初期表示なし

2. データの作成

作成するデータの種類等を指定した上で、[ファイル切出]ボタンをクリックします。その後表示される「切り出し先の指定」ウィンドウで保存先を指定して[保存]ボタンをクリックすると、地方税納付サービス用データ(テキストファイル)が作成されます。

ファイル名の指定

【データの種類】

都道府県税
 市町村民税
 都道府県税・市町村民税

【ファイル名】

都道府県税
 KENZEI

市町村民税
 SHIZEI

都道府県税・市町村民税
 KENSHIZEI

【改行コード】 解説

有 無

ファイル切出 キャンセル

♥ ファイル名を指定してください。

(1) [データの種類]区分

[都道府県税・市町村民税]は、前画面の[取扱銀行]欄で[三菱UFJ銀行]を指定している場合に選択できます。

(2) [改行コード]区分

[有]を選択した場合は、作成するファイル内でレコードごとに改行されます。

(注) 作成される地方税納付サービス用データ

- メニュー1002又は1003で作成した納付書の「合計額」欄に金額(納付税額)がある都道府県又は市町村について、地方税納付サービス用データが作成されます。「合計額」欄が空欄(0円)である都道府県又は市町村については、地方税納付サービス用データが作成されません。
- メニュー1002で作成した都道府県税の納付書の「計」欄が空欄(集計結果がマイナス)の場合、地方税納付サービス用データ上の「計」欄には0がセットされます。
- メニュー1002又は1003で選択した納付書の申告区分(「確定」「見込」など)は地方税納付サービス用データにもセットされます。なお、三菱UFJ銀行用の地方税納付サービス用データの仕様には「更正」の区分がありません。そのため、メニュー1002又は1003で納付書の申告区分を[更正](「処理区分」が「修正申告」の場合に選択可)として納付書を作成した場合、システムでは「修正」の区分を地方税納付サービス用データにセットしています。(三菱UFJ銀行用のみ)
- 納付書の法人道府県税の申告区分が「中間」の場合、都道府県税の地方税納付サービス用データには、法人事業税等の申告区分にかかわらず「中間」とセットされます。
- 当システムで作成できる地方税納付サービス用データのレコード長は、以下のとおりです。
 - 三菱UFJ銀行：200バイト
 - 三井住友銀行：都道府県税 250バイト、市町村民税 200バイト